

所報発刊にあたって

田川郡教育研究所 所長 長野 修

所報の発刊にあたり、ご挨拶を申し上げます。皆様のご支援とご協力により、完成にいたることができましたことを心から感謝申し上げます。

昨年度は、久しぶりに福岡県および筑豊地区で研究所主催の実践発表会が対面で開催されました。もちろん田川郡からも、どちらの発表会にも実践発表者が出て、素晴らしい成果を発表することができました。それぞれの発表会場では、活気あふれる意見交換が行われました。

次に論文募集についてですが、ふくおか教育論文、田川郡教育研究所論文にも多数応募があり、入賞者を排出しました。特にふくおか教育論文では、田川郡からの入賞者が毎年続出しており、大変誇らしい限りです。

さらに昨年度は、小中学校ともに教科等部会が行われ、実践からまとめの作成までがすべて行われました。この所報にも取り組みの内容が紹介されていますのでご一読ください。

これらのどの取組に於いても、自分の実践を振り返り、まとめ、次の実践に活かすという内容が必要ですが、それらを行うには日々の地道な努力が欠かせません。授業研修や研修会への参加はもちろん、校長先生はじめとする周囲の先生方の協力が不可欠です。働き方改革の観点から若干の困難もありますが、これらの仕事に魅力を感じ「働きがい改革」を進め、「働き方改革」との両立を目指していければと思います。

最後に、当教育研究所では、今後も学校や先生方が直面する教育課題の解決に向けて、さまざまな事業を通じて貢献してまいります。田川郡の教師が智恵を結集し、「令和の田川郡教育」を築いていくため、引き続き皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

就任の挨拶

田川郡教育研究所 副所長兼幹事

添田町立落合小学校 校長 長 畑 理 恵

昨年度に引き続き、副所長を拝命いたしました落合小学校の長畑です。

私自身、若年の頃から学ばせていただいた田川郡教育研究所。今後は、田川郡の教育の発展並びに教員の人材育成のために、一生懸命に努めさせていただきたいと思っております。ますます教員の若年化が進む現在、教育研究所の使命をしっかりと果たすべく、努力してまいります。本年度もご支援・ご協力をお願いいたします。

就任の挨拶

田川郡教育研究所 副所長兼書記

福智町立赤池中学校 校長 春永 功次郎

令和の日本型学校の構築が出て3年目になります。各学校、先生方におかれましては国が目指す学校教育の在り方を念頭に学校運営、学級指導、教科指導等に力を注いでいただけることだと拝察します。研究所といたしましては皆様の教育への熱い思いを支援させていただきます。

また、校長最後の年ではありますが引き続き副所長を拝命させていただいたことに感謝申し上げます。田川郡の子ども達の輝きのため微力ながら精一杯支援させていただきます。

学力向上実践校の紹介【小学校】

大任町立大任小学校

1 学校教育目標

自立する児童・協働する児童・創造する児童

2 学力向上プラン短期目標

基礎的な学力を身に付け、自分の考えをもち
問題解決できる児童の育成

3 取組の概要

(1) 一人一台端末を活用した授業づくり

- 主体的に問題を解決しようとする児童を育てるために共通して取り組む、一単位時間の学習過程「おおとう授業モデル」を取り入れ、共通した授業実践を行っている。
- 思考・表現する場面での一人一台端末の効果的な活用を図るために、電子黒板に集約した考えを映し出し、話し合う活動を設定したり、プレゼンテーションソフトを使って、目的に応じて自分の調べてきたことを発表したりするなど、表現する活動を実施している。



(2) 学力層に着目した取組

- 4～6年生の算数の学習では、毎時間、習熟度別に応じた分割授業を行っている。また、校内学力向上検証委員会を設置し、児童の実態把握や単元の通過率等を担当教員で交流する等、短期間でPDCAサイクルを回している。
- 年度当初に家庭学習の内容についての共通理解を図った。B4用紙の表面に国語（文章の読み取り、文法を中心）、裏面に算数（基礎的な計算問題と文章問題を中心）を載せ、学校全体の基礎的・基本的な力の底上げを図っている。
- 上記の家庭学習の書き直しを、朝の学習で実施しており、書き直しの徹底を学校全体で行っている。
- 家庭学習強化週間を学期に一回設定している。また、家庭学習強化週間の最終日には、漢字コンクールを実施し、漢字の定着を目指している。

(3) 補充学習の推進

- 1～3年生の算数では、基本的な計算を確実にできるようにするために、週1回程度、補充の時間を設定している。2～3名で各学級に入り込んで、補充プリントの○つけや指導を行う体制をとっている。
- 4～6年生の算数では、複数で補充を行うことができる体制をつくり、児童がつまづきやすい単元に絞って、復習を行っている。

学力向上実践校の紹介【中学校】

大任町立大任中学校

1 研究主題

学ぶ意義を実感し、学びに向かう力を高める生徒の育成
～一人一台端末を効果的に活用した「おおう授業モデル」・「大任中スタンダード」を通して～

2 「大任中スタンダード」について

福岡県重点課題研究指定・委嘱を受け、令和3年度から小中連携を図りながら、「確かな学力を育む一人一台端末の効果的な活用」を重点として研究を推進してきた。一人一台端末を活用する目的と、活用することによって育成を目指す学力を明確にした上で、より効果的となる学習過程の段階を設定した。小学校では「おおう授業モデル」を、中学校では、学ぶ意義の実感を重視した学習活動を中心に、「鍛ほめ福岡メソッド」の仕組みを取り入れながら、「大任中スタンダード」による授業モデルを右図のように設定した。

3 2つの単元構成と大任中スタンダード

柱1 一人一台端末を効果的に位置づけた単元構成

教科の特質に応じ、問題解決型と課題解決型の2つの単元構成とし、単元総括の段階で学んだ内容や方法を振り返り、生徒に学ぶ意義を実感させ、価値付けを行う活動を実践する。

柱2 一人一台端末を効果的に位置づけた「大任中スタンダード」

学習形態を一斉、個別、協働に分類しながら一人一台端末の効果的な活用を図った。一斉では教師による教材の提示を主とし、個別では調査活動、思考を深める学習、表現・制作活動、家庭学習などの道具として使用する。協働では、話し合い活動、協働での意見整理、共同制作の学習などの道具として活用する。



4 研究の成果

○授業アンケート（全生徒対象）の結果、「ICT機器を使うことで、『何のために学ぶのか』『学習した後自分が成長できた』と感じることがある」に対し、肯定的な回答が94.2%であった。自由記述には「自分を制御」「将来使おうと思う」など、自己統制や未来志向に関する記述が見られた。このことから「大任中スタンダード」を設定することによって、一人一台端末の活用目的と活用場面、育成を目指す学力を明確化した上で、学んだ内容や方法を用いる場面を設定したり、学んだことによって自分が成長したことを実感したりする場面を設定することにより、学びに向かう力や人間性を高めるうえで効果的であった。

5 今後の方策

○「大任中スタンダード」を授業モデルとして、全教職員による日常的な実践は定着化している。しかしながら、各種学力テストにおける学力の相関関係については今後、継続して研究を進めていく必要がある。今年度は特にCD層の生徒の学力向上に向けた効果的なICTの活用の実践を意識しながら校内における検証を進めていく。

R5 教科等部会（小学校）活動報告

【国語部会】 校長 藤田 昭介

- 第1回 講話 思考・判断・表現力を育成する国語科「書くこと」について
 講師 筑豊教育事務所 指導主事 中原正文 先生
- 第2回 講話 思考・判断・表現力を育成する国語科「話すこと・聞くこと」について
 講師 筑豊教育事務所 指導主事 中原正文 先生
- 第3回 授業研修会（福岡県重点課題研究指定事業最終報告会）
 授業者 國本 裕司 先生
 単元名「高畑さんの説明の仕方の工夫を見つけ、それを活かして書こう」（鳥獣戯画）を讀む）
- 第4回 （中止）
 講話 思考・判断・表現力を育成する国語科「読むこと」について
 講師 筑豊教育事務所 指導主事 中原 正文 先生

【社会科部会】 校長 高上 克也

- 第1回 年間研修計画作成 組織づくり
 社会科の授業づくりについて
- 第2回 現地研修（福智町）
 ・「ふくちのち」見学・研修
 ・「城山横穴群」見学・研修
- 授業研修等各種研修会参加
 ・中元寺小 4年「くらしと電気」
- 第3回 教育事務所指導主事講話（未実施）
 □ 授業実践報告
 福智町立市場小学校 岩本 麻美 教諭

【算数部会】 校長 長尾 公仁

- 第1回 ・組織作り、活動計画案の作成
 ・香春町立香春思永館
 千々岩芳朗先生による講話
- 第2回 ・福岡県学力調査を用いた研修
 ・各自の実践紹介
- 第3回 ・川崎町立真崎小学校
 伊藤匠先生による公開授業
- 第4回 ・実践報告
 川崎町立真崎小学校 伊藤匠先生
 ※積雪により中止

【理科部会】 校長 永田 雅士

- 第1回 研究グループづくり 活動計画作成
- 第2回 講師招聘による実験講習
 「理科におけるICT活用及び
 実験器具使用の実際」（株）内田洋行
 ・toio（トイオ）、酸素 二酸化炭素測定器
 電子拡大顕微鏡など
- 第3回 実践交流及び実験講習総括
 ・研究経過報告（グループ交流）
- 第4回 実践発表及び今年度のまとめ（中止）
 ・実践発表 伊方小学校 長尾 創太 教諭

【生活科・総合的な学習の時間部会】

校長 益田 茂

- Ⅰ 組織作りと研修計画
 研修：生活科の指導におけるICTの活用
- Ⅱ 講師招聘による研修会
 生活科・総合的な学習の時間」に役立つ学び
 英彦山青年の家 社会教育主事
 後藤 大輝 先生
- Ⅲ 実践報告（紙上報告）・年度の反省
 主体的・対話的な子どもを育てる総合的な
 学習の時間
 添田町立添田小学校 田中 雅人 先生

【音楽科部会】 校長 太田 優子

- 第1回 組織作りと年間活動計画 情報交換
- 第2回 研修（講話・演習）
 「音楽科指導の基本の『キ』」
 講師：筑豊教育事務所 山口由一郎指導主事
- 第3回 実践交流会及び年間のまとめ（中止）
 報告者 赤小学校 谷口 祐有季 教諭
 題材 第6学年「短調のひびき」
- 各種研修会参加
 福岡県小学校音楽教育研究大会
 福岡県重点課題研究発表会

【図画工作科部会】 校長 朝倉 暢睦

- 6月 組織作りと活動計画作成
 実技研修「色鉛筆のすすめ」
- 8月 筑豊地区小学校図画工作実技講習会
 ～人物の描き方と板紙凸版の指導法～
- 9月 実技研修「紙版画（人の動き作り）」
- 11月 県小児童画展田川郡審査（上野小）
- 12月 県小児童画展筑豊地区審査（桂川小）
- 1月 実践交流会と本年度のまとめ（中止）
- ※ 事務局にて、実践レポートの取り合せ
 及び各部員への配付に変更

【家庭科部会】 校長 神崎 育子

- 第1回 組織づくりと年間計画
- 第2回 ICT活用の実技演習
- ① デジタル教科書を使ってみよう！
- ② タブレットで家庭科教科書のQRコード
 を活用してみよう！
- ③ 食育教材のコンテンツを使ってみよう！
- 第3回 実践交流会《積雪により中止》
 ※ 郡教育研究所研究紀要の「実践記録」、
 会員の「実践記録」を冊子にして配付

【体育部会】 校長 中瀬 博之
 第1回部会 6月20日(中元寺小)
 組織づくりと年間計画及び4部会の情報交換
 第2回部会 9月11日(中元寺小)
 授業発表(久富教諭)と4部会実践交流
 第3回部会 11月16日(上野小)
 授業研 鍋藤 秀晃 教諭
 ・ボール運動(セストボール)
 指導助言 桂川東小学校 薄井純一 教頭
 第4回 1月24日(中元寺小)
 まとめ ※大雪のため中止

【道徳科部会】 校長 長畑 理恵
 ○第1回部会 6月20日(大任小)
 ・組織作り
 ・講話 大任小学校主幹教諭 手嶋 圭吾 先生
 「道徳科の授業づくりの基礎基本」
 ・協議・演習 川崎東小学校教諭 井村 昂 先生
 ○第2回部会 9月11日(大任小)
 ・授業研に向けての指導案検討及び情報交換
 ○第3回部会 9月29日(弁城小)
 ・地区別道徳教育研究大会への参加
 ○第4回部会 雪のため中止

【外国語活動・外国語部会】 校長 茅島 陽子
 第1回 6月20日(市場小学校)
 ○組織づくりと年間計画作成、情報交換
 第2回 9月11日(市場小学校)
 ○「授業づくり研修会」
 講師:筑豊教育事務所 小林朋子指導主事
 第3回 11月24日(飯塚市立片島小学校)
 ○飯塚市教育委員会研究指定・委嘱
 研究発表会 参加
 第4回 1月24日《天候不良のため中止》
 ○実践発表及び本年度のまとめ

【特別活動部会】 校長 相緒 英樹
 ○第1回 6月20日(火)伊方小学校
 ・組織作りと活動計画等
 ○第2回 9月11日(月)伊方小学校
 ・実践発表 「児童会活動」 友永 宗興 教諭
 ・グループ研修(実践交流)
 ○第3回 12月1日(金)川崎東小学校
 (第52回福岡県小学校特別活動研究大会への参加)
 ・授業公開 学級活動(1) 柳井 文陽 教諭
 ・授業公開 学級活動(1) 津田 努 教諭
 ・分科会発表 「児童会活動」 友永 宗興 教諭

【特別支援教育部会】 校長 上原 誠司
 [1回] 組織づくり 活動計画 情報交換
 [2回] 研修会
 講話 「特別支援学級における指導・支援の充実に向けて」
 講師 筑豊教育事務所 教育相談室
 指導主事 栗原 正旨 先生
 [3回] 年間まとめ及び取り組みの交流や情報交換等を行う予定にしていたが、中止となった。



R5 教科等部会 (中学校) 活動報告

【国語科部会】 校長 井上 法行
 ○第1回国語科部会 6月20日(火)
 ・組織づくりと年間活動計画の作成
 ○公開授業 11月10日(金) 糸田中学校
 ・授業者:山本 房絵 先生
 ・単 元:いにしへの心を受け継ぐ
 ○筑豊地区学校図書館協議会研修会参加
 ・講演「まちづくりの拠点と子どもたちの学力向上を目指す図書館」
 ・講師 福智町図書館・歴史資料館
 「ふくちのち」館長 井上 憲治 氏

【社会科部会】 校長 中川 智晴
 ○研究主題
 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた社会科学習指導の研究」
 ○第1回研修会 6月20日【於 赤中学校】
 組織づくり 研修計画作成 活動内容の確認
 ○第2回研修会 7月6日【於 赤池中学校】
 公開授業者 教諭 入江 和希
 単 元 名 (歴史) 古代までの日本と世界
 ○研究紀要執筆・審議 11月~1月
 研 究 員 教諭 萱嶋 亮介(川崎中)

【数学部会】 校長 山中 江利子

- 第1回部会 6月20日(火)於：方城中学校
 - ・研究主題、研修計画作成、活動内容の確認
 - ・研修「思考力・判断力・表現力を問う定期
 考查問題について」
- 第2回部会 公開授業：11月8日(水)
 - ・会 場：川崎町立川崎中学校
 - ・授業者：徳永 章宏 先生
 - ・単元名：第1学年「変化と対応」
- その他 ・公開授業アンケートのまとめ等

【理科部会】 校長 久富 靖剛

- 総会 6月20日 (於 糸田中学校)
 - 組織づくり、研修計画・作成
- 部 長 栗野 善徳 (大任中学校)
- 研究員 谷川 佑太 (川崎中学校)
- 研究主題「生きる力」を育む学習指導の研究(4年次)
-主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して-
- 実験講習会 2月15日(於 糸田中学校)
 - 講師：株式会社ナリカ
 - 内容：最新の器具を利用した実験方法など

【音楽科部会】 校長 安藤 志保美

- 第1回部会(6月20日)
 - ・組織、部会計画の策定
- 第2回部会(公開授業：11月27日)
 - ・会 場：香春町立香春思永館
 - ・授業者：中嶋 真由子 先生
 - ・題材名：第7学年「さくら さくら」
 表現「器楽(箏)」
- 研究のまとめ 執筆 長野 友希 先生

【保健体育科部会】 校長 安部 博智

- 第1回 保健体育部会：6月20日(火)
 - ・組織づくりと年間活動計画の作成
 - ・「体力向上プラン」実践交流
- 公開授業：10月31日(火)
 - ・【授業者】中野 浩平 先生
 - ・【単 元】球技(ネット型) バレーボール
 - ・【会 場】糸田町立糸田中学校
- 本年度の研究のまとめ：3月12日(火)

【美術科部会】 校長 中野 純孝

- 総会・第1回研修会(6月 添田中学校)
 - ・組織づくり、年間計画作成、交流会
- 臨時研修会(11月 青少年文化ホール)
 - ・出展作品の交流会
- 第67回福岡県中学校美術教育研究大会
(筑豊大会)への出展・参加(11月)
- 第2回研修会(1月 添田中学校)
 - ・年間のまとめと今後の計画、作品の交流会
- 第33回福岡県中学校美術展に出展(2月)

【技術・家庭科部会】 校長 春永 功次郎

- 研究主題
「未来を見据え生活を工夫し創造する資質・
 能力を育てる技術・家庭科教育」
- 第1回部会(6月20日 赤池中学校)
 - ・組織づくり、年間活動作成
- 授業研修会(11月1日金田義務教育学校)
 - ・授業者 片桐 紀子(技術科)
 - ・題材名 材料取と部品加工
- 福岡県中学校技術・家庭科研究大会参加

【英語科部会】 校長 松内 隆泰

- 組織、年間計画作成等(6月)
- 実践研究員 糸田中学校 加藤 睦都 教諭
- 研修会：令和5年9月26日(火)大任中
 - ・長期派遣研修報告(糸田中 加藤教諭)
 「英語でのやり取りを継続・発展できる力
 を養う外国語科学習指導法の研究」
 - ・授業実践(話すこと「やり取り」)の交流
 - ・英語教育の現状について
 筑豊教育事務所 小林指導主事招聘

【道徳部会】 校長 中川 智晴

- 研究主題「豊かな心をもち、夢や未来を拓く
 力をはぐくむ道徳科学習指導」
- 総会及び研修会 6月5日【於 赤中学校】
 - 組織づくり 研修計画作成 活動内容の確認
- 公開授業
令和5年度福岡県中学校道徳教育研究大会
11月24日 【於 糸田中学校】
 - 授 業 者 教諭 加藤 睦都 先生
 - 主 題 名 「異性理解に必要なもの」
 - 内 容 項 目 【B-(8) 友情、信頼】

【特別活動部会】 校長 春永 功次郎

- 第1回部会(6月5日 赤池中学校)
 - ・代表、研究員等担当校組織表作成
 - ・年間活動作成
- 全九州中学校特別活動研究大会福岡大会
 - ・8月3日 福岡女学院大学

【総合的な学習の時間部会】 校長 安藤 志保美

- 第1回部会(6月5日)
 - ・組織、部会計画の策定
- 研究員
藏原 麻厘 先生(赤中学校)
- 研究主題
自ら課題を見つけ、情報を集め、改善方法
を考える力を育む総合的な学習の時間
～自主学習の計画を通して～

長期研修等を終えて

令和5年度教職員中央研修（第2回中堅教諭研修）を終えて

福智町立方城中学校 主幹教諭 福田 和憲

昨年度、中央研修（中堅教諭研修）に参加させていただきました。全国から集まった先生方と共に学んだ1週間はとても充実し、多くの学びを得ることができました。講義・演習の中で特に印象に残ったのは、「評価は相手への応援でなければならない」「教師の学びは、子どもたちの学びの相似形」「理論と実践の往還」という3つの言葉です。令和の日本型教育の方向性が示され、学びの捉え方が大きく変わっている中、成長する主体としての生徒をいかに支えるのか。そして、必要な教育活動を行うために、我々自身が学び続けることの大切さを感じました。

次に、学校組織のマネジメントについての講義・演習からは、「やった方が良さそうな取組」を増やすのではなく、学校としての目標を実現するために「必要な取組」を重点的に行うことや、対話を通して職員全体で目標を共有することの大切さを学びました。問題点や足りないものを補おうとする「戦術的（過去志向的）」な視点ではなく、目標に向かい自分たちの良さをいかしていこうとする「戦略的（未来志向）」な視点。数人の個の力に頼るのではなく、互いに補い合うことができる組織の姿を目指すこと、などを実践につなげたいと思います。また、先生方との交流を通して、自治体による違いを知ることができました。業務の効率化などは都市部の方が進んでいるようでしたが、タブレットの授業利用に関しては自校の先進性に気付くことができました。人口減少社会の現代において、地方を持続可能にするために学校の果たす役割は大きく、これからの時代に必要な力を身に着けた生徒を育てるための教育実践をこの田川で展開したいという思いを強くしました。

最後に、中央研修に参加するにあたり、筑豊教育事務所や福智町教育委員会をはじめ支えてくださった全ての皆様に感謝します。ありがとうございました。



令和5年度教育論文応募者・入選者紹介

ふくおか教育論文

川崎町立真崎小学校 教諭 野村 由季 （若年の部）

奨励賞

『自ら考え表現し合う子どもを育成する算数科学習指導』

○令和5年度福岡県とびうめ教育表彰式（令和5年12月26日（火）県庁）

○令和5年度「ふくおか教育論文」表彰式・発表会（令和6年2月13日（火）筑豊教育事務所）

田川郡教育研究所教育論文

川崎町立真崎小学校 教諭 伊藤 匠 （一般の部） 算数・数学

佳作賞

『数学的な見方・考え方を働かせる児童を育成する算数科学習指導』

大任町立大任小学校 教諭 城野 晴菜 （一般の部） 算数・数学

『数学的な表現力を高める第4学年算数科学習指導』

糸田町立糸田小学校 教諭 税所 悠大 （若年の部） 国語

『読みを深める高学年国語科学習指導』

福智町立方城中学校 教諭 原田 雅貴 （一般の部） 理科

『考察場面において自らの考えを表現できる力を育てる理科学習指導』

福智町立赤池中学校 教諭 遠藤 智之 （一般の部） 算数・数学

『計算過程を大切にする力を高める中学校数科学習指導』

※表彰式 田川郡教育研究所総会 （令和6年5月28日（火）赤村住民センター）

令和6年度 教育実践発表会等についてのお知らせ

◆筑豊地区教育研究所連絡協議会教育実践発表会

○実践発表者 遠藤 智之 (福智町立赤池中学校)

主題『計算過程を大切にできる力を高める中学校数学科学習指導』

※8月2日(金) 14時開会 (於) 夢サイトかほ

◆福岡県教育研究所連盟研究発表協議会

○実践報告者 伊藤 匠 (川崎町立真崎小学校)

主題『数学的な見方・考え方を働かせる児童を育成する算数科学習指導』

※11月12日(火) 13時～ (於) 福岡県教育センター

食育だより

添田町立添田小学校 栄養教諭 井手口裕子

給食時間におなかをすかせた子どもたちが待ちに待った給食を楽しそうに食べる姿を見るのは、とてもうれしいことです。しかし、窒息や誤嚥などの悲しい事故が起こっているのも事実です。食事の際の咀嚼が不十分だったり、口いっぱい頬張って食べたり、早食いしたりすると窒息のリスクが高まります。また、食べ方によってはどんな食品も窒息の原因になり得ます。食べ物による窒息事故を予防するためには、

- ①よくかんで食べるよう指導する。
- ②早食いは危険であることを指導する。
- ③食事中は子どもたちの様子をよく観察する。

これら3つのことが必要です。さらに、給食時間に余裕がなく、早食いを助長するような時間設定になっていないかの確認も必要です。発達段階に応じた食事時間を確保しましょう。



養護だより

福智町立金田義務教育学校 養護教諭 牛島稚菜

今年度の活動計画では、7月に第1回講演会を福智町金田分署の救急隊員を講師にお招きし、救急搬送の現場から実践に即した救急処置について、講演・実技講習をしていただく予定です。これは、昨今の学校現場での窒息事故や水難事故を鑑み、今一度、学校で必要な救急処置の知識と技能の学びを深めるとともに、養護教諭としての危機管理意識の向上を図りたいと考え計画を進めています。また、研修した内容については、自校で他の職員にも共有し、学校全体としての危機管理体制の向上にも生かしていきたいと考えています。

田川郡養護部会は今年度も引き続き、養護教諭間での情報共有や他機関との連携を大切にしながら、子どもたちの健康教育ができるように励んでいきたいと思っております。



田川郡教育研究所

[所在地] 〒 825-0002
田川市伊田松原通り 3292-2 田川総合庁舎 筑豊教育事務所田川駐在在
[TEL・FAX] 0947-47-1081
[E-mail] tagawa-lab@fukuoka.email.ne.jp
[URL] http://tagawa-lab.sakura.ne.jp/

所長	長野 修	副所長	春永功次郎 (赤池中学校 校長)
副所長	長畑 理恵 (落合小学校 校長)	書記	〃
幹事	〃	主任指導員	森 孝太郎 (香春思永館 教頭)
主任指導員	手嶋 圭吾 (大任小学校 教頭)	指導員	奥 拓也 (真崎小学校 主幹教諭)
指導員	鍋藤 秀晃 (上野小学校 教諭)		
指導員	福田 和憲 (方城中学校 主幹教諭)		

